

「人生の最期まで
自分らしい
豊かな生活を」

公開講座

自分が受けたいと思う医療やケアについて、
事前に考え、自身の価値観に基づいた
生活の推進を目的に開催します。
是非ご参加ください。

【講演】

“人生の最期を考える”
人生会議に取り組む第一歩に

地方独立行政法人 長野市民病院
長野市在宅医療・介護連携支援センター
社会福祉士 小林 裕子 先生

【その他】

希望実現の実践報告

令和7年

4月26日（土）

開会／10時

閉会／12時

場所／富竹の里

長野市大字富竹1621番地

電話番号：026-296-7383



社会福祉法人 光仁会 富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

令和7年度 公開講座アンケート集計結果

参加者：18名

回答者：16名

① 本日参加した理由をお聞かせください。

- ・自分自身の最期を考えたいと思い。
- ・去年の8月難病を発症し、この先が不透明にありまして参考にさせて頂きたく、参加しました。
- ・実母が93歳の高齢で認知機能も衰え、責任能力も事実上喪失しているので、心得をしっかりとっておきたいと思って参加させて頂きました。
- ・80歳を過ぎて人生の最期を考えたので参加しました。
- ・主人にとって何が一番よい人生だったと思えるようになるのか考えたかったので。
- ・誰にでも起こりうる事に対して準備を行う。
- ・自分にもすぐくる年になって来たので、大変良いお話でした。
- ・初めてのことで、聞いてみようと思いました。
- ・過去に義父母の看病を経験し、自分たち夫婦も段々年を取り不安が増していますので、色々勉強したくて参加しました。
- ・大事なことだと思うからです。
- ・家族の今後を考えるきっかけとするため。
- ・ご案内を頂いたので。
- ・センターの方に進められて。
- ・友人の紹介。

② 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について、知っていましたか。
(知っていた 44% 知らなかった 56%)

③ もしバナゲームを知っていましたか？
(知っていた 12.5% 知らなかった 87.5%)

④ 家族や自分の医療・ケアに関する希望について、話し合ったことはありますか。
(ある 62.5% ない 37.5%)

⑤ ④で「ある」と答えた方、誰と話し合いましたか。(複数選択可)
(子 31% 配偶者 25% 親 19% 兄弟姉妹 6% 親戚・知人・医師・ケアマネ 0%)

⑥ 講演を聞き、人生会議をはじめるきっかけになりましたか。

(なった 87.5% ならなかった 0% すでにはじめている 12.5%)

⑦ ⑥の理由をお聞かせください

- ・ A C P 頭では理解していたのですが、実生活でできるか心配ですが、最期を考えるいい機会になりました。
- ・ 意思決定できるのは、本人のみということをお聞きして、今すぐ始めたいと思いました。
- ・ これから人生会議の話し合いをして行きたい。
- ・ 子どもたち話しておきたいと思います。
- ・ 病気がきっかけで、今後のことを考えるきっかけになる。
- ・ 話し合っておく事は大事だと思うが、難しい問題が。話を聞いて何事も決める事は難しく、その場で聴かれた時、すぐに答えられるかわからない。
- ・ 大変良いお話を聞く事が出来まして本当にありがとうございました。
- ・ 元気なうちから繰り返し話題にすることの大切さが良くわかりました。家族と話し合っていきたいです。本日は、ありがとうございました。
- ・ そういう状況になった時に本人はどういう最期を考えているか知っておくことが大事だと思いました。
- ・ 自分の思い家族の思いの共有が大切だということをあらためて感じました。
- ・ 10年以上前から（一人ぐらしなので）エンディングノートを書いていて、もしもの時に備えている。
- ・ 自由にならない自分は心配。
- ・ 人の人生、他の人にはどうにもならない事がある。
- ・ 必要性を強く感じたため。
- ・ 大事な事を学びました。なかなか難しい問題だと思いました。
- ・ 両親を看取り、順番でいえば私たちという立場なので、色々考えます。お墓のことや子どもたちが困らないようにと。でも現実はなかなか進まずです。